

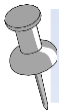


76 期の



— 内容 —

- 学年主任より
- 2 学期期末考査講評
- 国：p. 2～
- 社：p. 3～
- 数：p. 4～
- 理：p. 6～
- 英：p. 9～
- 冬休み明けの予定



学年主任より

「学習曲線」という言葉を覚えていますか？

進路通信第 14 号にも載っていたグラフです。横軸が学習の時間（月）で、縦軸が学習の成果（成績）の座標軸に、受験生のイメージの直線と実際の伸び方の曲線が描かれたグラフと言えば思い出す人も多いのではないのでしょうか？そのグラフでは 1 月から 2 月にかけてぐんっと縦に伸びています。もうすぐやってくることを信じ続けましょう。

2 学期になり、二次試験対策の演習や共通テスト対策の授業が多くなりました。そのような演習中心の授業では、それまでのインプット中心の学習からアウトプット中心の学習へと切り替わっています。これまでの学びが体系化され、点（分野）と点（分野）がつながっていくのがまさに今の時期だと言えます。入学式で『76 期の WA』の 3 つの WA について、「学びの WA」「仲間の WA」「思いやりの WA」を大切にしてほしいと話をしました。今、「学びの WA」を大きくしていく時期だということです。歩みをとめない限り大きくなります。

76 期生が岸高で学んだ成果を発揮する日がすぐそこまで来ています。皆さんと保護者の方と教員一体となって、『76 期の WA』で受験を乗り越えましょう！

（76 期学年主任 伊藤）



2 学期期末考查講評

古典（文）

2学期中間考查後、すぐに「和泉式部日記」をやりました。その後共通テスト演習に入ったので、どんな話だったか思い出すのに時間がかかったかもしれません。

単語の意味、敬語、助動詞は、最低限必要なものしか出していないので、間違えた人は見直し必須です。

【二】

問1 (i) の歌に「秋は行く」とあるので、秋の終わりの九月を指す。

問4 A・B・Dは係助詞、Cは終助詞。接続で判断すること。

問5 「秋」と「飽き」の掛詞は頻出。

問6 代作を依頼した帥宮が和泉式部の歌を見た感想。

【三】

問8 イ 絶縁状態に陥ってしまう、が誤り。

ウ どちらが優れているかというのはわからない。

エ 喜んではない

オ 良い方向に転換している。

古典（理）

今回は範囲が広がったので、考查に向けてしっかりと復習するのは難しかったと思います。それだけに、普通の授業での取り組み方がそのまま点数に反映されているはず。普通の古典の授業にしっかりと取り組み、自分のできなかった点を確認しておく作業をきちんとしておけば、古典の共通テスト対策はそれで十分なのです。

【二】問5

「令」の文字があるのに、「使役」の語法ということに気づかなかった人は、罰金ものです。

「令」ム + 「A(対象)」ヲシテ + 「B(動作など)」

いう形を思い出してください。基本中の基本です。

【三】問2(1)

「～哉。＝(～かな。)」で、「～であることだなぁ。」という「詠嘆」の形。「～」には、体言や連体形が入る。「善哉。」は「善きかな。」となる。これも、基本中の基本。

冬休み中は、漢文の句法の復習をしておくこと！

選択古典

実に4分の1が欠試するという事態になり、びっくりしました。『源氏物語』2つはなかなか大変でしたね。単語の意味、助動詞は必須です。間違えた人はもういちど確認しておいてください。

『源氏物語』は各大学で頻出なので、さらっと全体の流れを知っておくと有利になります。ぜひ。

GG

地理での受験が控えている人も、そうでない人も最後の定期考査、おつかれさまでした！ 今回の出題は、もう十分共通テストやセンター試験過去問に取り組んでいる人も念頭に置き、私立大学などの過去問を、共通テスト風にアレンジしたものを中心に出題しました。

地理での受験が控えている人には一人一人それぞれわずかな時間でしたが、考査の返却をしながら、個別にお話しさせていただいたとおりです。地理はとにかく演習中心。参考書眺めているだけでは、力になりません。とにかく演習→参考書、プリント、資料集などへ。この循環を最後まで。地理の学習時間を、まとめて取れないならば、大問ごとの取り組みでも、効果があるはず。けっこう完成しつつある人も、地理の時間をちょっとは入れるように！ 何もしないと忘れるし、せっかく積み上げてきた地理的思考のスキルが鈍ります。まだまだ地理の勉強が進んでない人も、とにかく演習から（共テの過去問から）！

もう時間が限られていることには違いないですが、これまでの結果や推移のとおり、地理は短期間でも大きく点数が変わる科目でした。当日までしっかり、充実した日々を送りましょう！

共通テスト本番では、最初の受験科目として、幸先のいいスタートを切れるよう、もうひと頑張りです！ ☆

倫理（公民特論の倫理分野含む）

今回の定期考査について、解説をGoogle Classroomにアップしているので、それを必ず読み、しっかり復習してください。

いよいよ共通テスト本番が近づいてきました。今まで知識のインプットばかりしていた人は、過去問演習をどんどんこなしていきましょう。公民の出題形式は、知識があったとしても文章読解力や資料を読み解く力がなければ得点を得ることができません。出題形式に慣れて知識を活用できるようにしましょう。

ラストスパートに期待しています。

数Ⅲ α

今回の考査は共通テスト形式と記述形式では授業で扱ったメジアンの問題の類題を出題しました。共通テスト型では各設問の正答率を解説プリントに載せています。みんなができていない問題をミスしないようにしましょう。記述問題は、ポイントとなることをきっちりと書くようにしてください。

これからは生活リズムを崩さず、体調管理に留意し、焦らず最後まで頑張りましょう。応援しています。

数Ⅲ β

二次試験までに、まだまだ特論で扱った分野の演習が足りていないと感じる結果でしたが、積分の出題内容も基礎ができていない結果でした。今回の出題は4STEPに記載されている問題を50点分(解答用紙表すべて)出題しています。授業で扱っている問題集をやり込めば二次力は十分付きますが、やり込んだといえる演習ができていますか？

近道はありません。入試まで1つ1つできることを増やしていくのみです。

- ① 4STEP A480(3)。不定積分の計算を誘導としました。分数関数の不定積分です。
- ② 4STEP B144(1)。極方程式を直角座標の方程式に直す方法を復習する際に、「極座標と直角座標の関係」を整理するように。
- ③ 4STEP 例題38。回転体の体積の考え方そのものを理解できていない解答が多かったです。上の曲線から下の曲線を引いた線分を回転させている誤答をした人は、これで最後にしてください。
- ④ 4STEP 演習問題A5。 $w=f(z)$ の表す図形を求める手順を理解すること。
 - ① $w=f(z)$ の式を $z=w$ の式の形に変形する
 - ② ①の式を z の条件式に代入する
- ⑤ 1の7乗根の題材は、実力考査、授業、今回と3回目です。これまでのやり直しも今一度まとめて取り組んでみると、より理解が深まるかもしれません。
- ⑥ 総合問題として出題しました。2次曲線を扱っていますが、最大や最小を求める際にどんなアプローチができるか。「最大最小=微分して増減表」だけでは入試は戦えません。

今できないことがたくさんわかった考査だったと思います。合格に近づくためにどんな力が必要か、残された時間でアウトプット中心の学習に励んでください。

数学特論

学年全体の平均点は 34.5 点。

中間考査同様、共通テストなども見据えてやや基本よりの問題を出題しています。残り一か月で受験ということを考えると、もう少し危機感を持ってほしいなと感じました。

- 1 指数関数、対数関数を含む方程式と不等式。(1)は相加平均と相乗平均の大小関係を利用して範囲を出してください。(2)対数の変形を今一度見直してください。入試一か月前とは思えないミスをしている人がいます。数人というレベルではないです。
- 2 漸化式を解き、一般項を求める問題。(1)は置き換えるよう指示されている式をみて与えられた漸化式の逆数を考えます。(2)は指示されている形を作っていけば本道です。置き換えの形から、階差数列を利用して一般項を求めることを見通しておきたいです。(3)については、公差 $2n - 1$ と記述している人は要注意です。
- 3 空間の位置ベクトルの問題。(1)はちゃんと図形を確認すれば間違えないです。(2)は内積を二回使う問題です。共通テストにおいて、外心の位置ベクトルなど内積の計算がやや複雑なものはよく見られます。今回の出題は決して難しい問題ではありません。
- 4 数学的帰納法による漸化式の一般項を求める問題。(1)は計算するだけですが、対数より指数の形で書くほうが計算しやすいでしょう。(2)帰納法は解答例を確認してください。(3)は部分分数分解を利用して和を求める問題です。指数のまま記述でも、解答例のように対数を使って記述してもいいです。
- 5 三角関数を含む関数の問題。(1)は見たままです。(2) t と x の対応関係をちゃんと記述してください。
- 6 図形と方程式からの出題。(1)は典型的な問題です。解法を覚えておきましょう。(2)は(1)の領域内で考えることを記述できていない解答が多かったです。最後は直線とみて、求めた放物線との共有点を持つ範囲を考えます。

共通テスト模試の点数から考えると、もう少し点数が取れてもよかったかなと思います。共通テスト形式の問題だとしても、何を求める問題で、どのような方針で解答を進めていくのか全体像をよく考えてください。今回の考査は共通テストより難しい問題は特になかったです。共通テストの解答形式にすると「答えの形」が見えることで正答率が上がるのかもしれませんが。ただ、それは本当に力になっているかと問われると疑問です。今回の大問 1 が特にそうです。

ここから、共通テストまで一か月・国公立試験まで二か月しっかり頭を使って演習してください。

文系数学演習

いつも通り、授業で取り扱っている内容とほぼ同等のレベルの入試問題を出题しています。非常にまずいのが、ごくごく簡単な公式を利用する段階で多くの間違いが起きていること（ベクトルの問題で特に顕著）。今回のテストで間違いが見つかったのはある意味幸運ですので、指摘を受けている人は即刻復習してください。それ以外にも勘違いしているものが見つかるかもしれません。細かい記述については、数学的帰納法の問題で注意を入れることが多かった。今回、**4**で満点をつけた生徒は一人もいません。数学的帰納法を利用して不等式を証明するのは確かに難しいが、もう少し簡単な問題からよく復習をしておくこと。帰納法の流れを汲んで共通テストで出題されるパターンもあり得ます。

数学ⅠA 総合演習

中間考査と同様に数学ⅠA からすべての内容で選択のない形で問題を作成しました。ダブルマーク等マークミスしている人がまだいました。消していても消し切れていないためにダブルマークになっている人もいました。きっちりと消しましょう。機械で読み取りますから、機械が読み取ってしまえばダブルマークになります。気を付けてください。解けていてもミスすれば得点になりません。注意していきましょう。

今回のテストでは以前に比べ点数を取っている人が多いかと思いますが、本番の共通テストでも点を取れるようにしてください。

解けなかった問題はもう一度確認しましょう。

共通テストでは、限られた時間で早く正確に計算し解いていかないといけません。計算ミスの無いよう早く解けるように演習していきましょう。

理数生物（理）

今回は担当教員が変わった初めての考査で、しかも生物全範囲からの出題ということで、試験勉強が大変だったかもしれません。みなさんお疲れ様でした。考査問題は、授業内で扱った分野を中心に出题しました。今回の平均点は54.2点でした。大問1は、生命現象と物質の分野の知識を整理してもらいたくて出题しました。自分が苦手かと思う分野があれば、復習しておいてください。問5の大腸菌のDNA複製は、複製起点から両方向に進行すると問題文に書いてあるので、2倍の速度でDNA合成が進行します。大問2は、授業でも問題演習した*lacZ*遺伝子をもつプラスミドの導入に関する問題でした。遺伝子導入の手順や判別のしくみも含めて、問題で問われている内容をもう一度整理してみてください。大問3は、倍数体の二価染色体についての問題でした。この問題では、ゲノム1セットが記号一文字で表されていて、 $n=7$ となることから、それぞれのゲ

ノム1セットに7本の染色体が含まれます。マカロニコムギが四倍体(AABB)、パンコムギが六倍体(AABBDD)です。配偶子にはそれぞれのゲノム1セットずつが分配されるため、雑種第一代のゲノムの組み合わせを考える必要があります。ゲノムに含まれる相同染色体が2本揃えば二価染色体、1本だけなら一価染色体となります。つまり、同じ文字のゲノムが2セット揃えば「7本の二価染色体」となり、揃わなければ「7本の一価染色体」になります。大問4は、弘前大学の過去問題を引用した動物の分類と系統の問題でした。それぞれの動物の分類がわかれば、難しくはなかったかなと思います。大問5は、体内時計の問題です。こういう問題を、自分で整理して考えられるようになっておくと、強みになると思います。大問6は、神経誘導のしくみに関連した問題でした。誘導が起こる際のBMPとコーディン(BMP阻害タンパク質)の関係と、コーディン分解酵素がはたらいた際のBMPとBMP受容体の様子をイメージしてもらいたくて出題しました。問4(2)では、コーディンの濃度が低下することで、背側の組織が小さくなることがグラフから読み取れますが、理由としてコーディンが分解されることで、BMPの阻害が起こりにくくなり、BMP受容体へ結合しやすくなることが解答のポイントです。大問7は、三毛ネコの問題です。性染色体上にある毛色の遺伝子による形質の発現のしかたについて整理してもらえると嬉しいです。大問8の植物の環境応答の分野は細かいところも多いですが、また知識を復習して整理しておいてください。

理数化学(理)

第1問と第2問の基本的な反応経路図については、よくできていたと思います。

第3問の芳香族に関する正誤問題については、授業で扱った演習問題の理解が不十分だった人が多かったですね。このような誤っている文章を記号で選ぶような問題では、「どこをどう直せば正しい内容になるのか」まで、しっかりおさえておくことが大事です。今回の第3問はそういった形で問題を作ったわけですが、一度やったことがある問題と少し見た目が変わっただけで正答率が大きく下がる人がこれだけいるのは、問題の振り返り方に課題があるといっておくべきだと思います。このあとに控えている入試でも、同じ内容を聞かれている問題は毎年のようにあるでしょうが、一字一句全く同じ問題というのは、まあほとんどないでしょう。

第4問の高分子の計算問題についても、まずは繰り返し単位をはっきりさせる、という基本を守ればそこまで難しくない問題ですが、見慣れていない形だと幻惑されてしまう人がかなり多かった印象です。結局どこがどう変化するのか、とまずは繰り返し単位の構造式を書きましょう。

そのように演習や模試・考査の問題を改めて振り返ってみてください。残り少ない期間であれこれ焦って手を出さなくても、「結局は同じことをきいている問題だなあ」ということも見えてくるのではないかと思います。これまで取り組んだ演習や、受けてきたテストを、しっかり「活用」しましょう。

(高野)

理数地学

平均点は(100 点中)58 点でしたが、平均との差を見るより、単に自身の得点率がどれほどかを見るようにしてください。授業でいつも言っているのは、8 割は取れるようになってほしいし、取れるようになります。

特に正答率が50%を切っている問題は解答番号 $\boxed{11}$ 、 $\boxed{4}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{5}$ 、 $\boxed{6}$ 、 $\boxed{9}$ 、 $\boxed{8}$ です(正答率が低い順)。 $\boxed{4}\sim\boxed{6}$ は地形や岩石に関する問題です。断層のでき方、古生物から分かる時代の区分、火成岩の見分け方をもう一度復習を。 $\boxed{8}\cdot\boxed{9}$ は大気と海洋の運動について。貿易風や偏西風をはじめ、地球上での大気の運動をまず復習すること。 $\boxed{11}$ は問題文をよく読めば正解できます。

地学基礎は、授業で演習し続けているので、本番でもさほど時間がかからないかと思います。だからこそ、丁寧に問題文を読むようにしてください。ストレートに聞いてくる問題は無い!と思いながら解答していきましょう。それでは期待して共通テストの結果を待っています。かべ!

生物演習

期末考査の平均点は56.2 点でした。特に特徴のあった問題についてコメントし、共通テストに向けての取り組みたいことについて書きます。 $\boxed{1}$ はマイクロメーターの典型的な問題でした。ここを間違えた人は必ず解き直しをしましょう。また、 $\boxed{5}$ も同様に典型的な計算問題でした。DNA が塩基対が並んでいるイメージをもち、ところどころに遺伝子領域があることをふまえて、計算すると解けたと思います。このように、具体的なイメージを持つことではじめて、正確な計算式を立てることができる問題が共通テストでは毎年1 問は出てきます。間違えた人は解き直しをしてほしいです。 $\boxed{7}\cdot\boxed{8}\cdot\boxed{9}$ は最も難しい問題だったかもしれません。この問題は、問題文を読解してポイントをつかんだうえで、グラフを読み取る必要があります。近年の共通テストの考察問題では問題文でポイントをつかむ技術が必須になっています。このような思考力が試される問題は、正答率はあまり上がらないのですが、高得点を狙う生徒は問題文からポイントをつかむ技術、グラフを読み取る技術を練習してほしいです。 $\boxed{10}\cdot\boxed{13}\cdot\boxed{14}$ は基本的な知識が必要です。間違えてしまった人は必ず復習しましょう。生物基礎は知識問題の割合が高いです。知識は覚えれば覚えるだけ、本番で点数を取れる可能性が高くなります。まだまだ伸びる部分なので、今からでも復習をしましょう。一方、考察問題は読解技術など慣れが必要です。毎日、少しでも良いので、コツコツ勉強してください。

英語Ⅲ

●コメント

学年平均は 46.7 点。

大問	内容	出題元	満点
1	リスニング	実力	20
2	読解	Cutting Edge(速読)	10
3	読解	Cutting Edge(速読)	10
4	読解	Cutting Edge(精読)	18
5	読解	Cutting Edge(精読)	12
6	読解	実力	14
7	語彙	シスタン	10
8	語彙・文法	Cutting Edge(精読)	6

100 点中 56 点が Cutting Edge から出題されていましたが、何点とれたでしょうか？ これまでのテストと違い、Pro-Vision からの出題がなくなり、完全に Cutting Edge からの出題となりました。文章のレベルは高くなりましたが、問題自体は教科書の問題を少し変えたものや読解が苦手でも内容が頭に入っていれば解けるものも多数用意していたので、英語が苦手な人で、授業を休まずに集中して参加していれば、Navi Book にきちんと取り組んでいれば、欠点を避けることができるテストだったと思います。

一方で、「英語が苦手な人で入試では英語以外で点数を稼ぐつもりの人」以外の人、何点とれましたか？ 当たり前ですが、入試では初見の文章を読んで問題を解くことになります。それなのに、読んだことのある文章の読解問題が解けなくてどうするのですか。「英語はそこそこできるので他の科目に取り組もう！」とっていませんか？ 「共通テスト」はそこそこ取れるかもしれませんが、難関私立大学の問題は解けますか？ 国公立大学の問題は解けていますか？ 自分の能力を正しく見極め、適切な方法で、適切な量、勉強するようにしましょう。

●問題の解説・コメント

② 読解 (Ch. 5)

(3) It がさす内容を答える問題

..., the concept of perspective lines meeting at a distant point was beyond his capacity to understand.

② It made no sense to his brain.

made no sense to his brain が前文の述語部分(was beyond his capacity to understand)とほとんど同じ意味だと気づけば、It が前文の主語部分(the concept of perspective lines meeting at a distant point)をさしていると気づきやすかったはず。

③ 読解 (Ch. 8)

(2) (②)に入る語を選択肢から選ぶ問題

一段落目 A second revelation...

二段落目 The researcher's final (②)...

(②)は revelation と似たような意味であり、revelation が reveal の[名詞形]であることに気づくことが重要だった。ある[動詞]の[名詞形]が「行為そのもの」を表すことが多いが、「その行為から得られるもの」を指すこともよくある(最頻出なのは work)。

前者は「不可算」、後者は「可算」であることが多いので、上記の revelation のように a が付いていたり、[名詞]が複数形である場合は、「可算」であることが明白なので「行為から得られるもの」をさしていると分かりやすいが、(②)のように the が付いていると読解力が必要になってくる。

4 読解 (Ch. 9)

(2) 並べ替え問題

① 「would (far) rather A than B」に気づく【語彙・構文】

② 「自分の本を燃やす」> 「卑しい人間だと思われる」だと理解する【読解力】

この2点が分かっているならば、解きやすかったと思う。

(3) ダーウィンが直面した選択を答える記述問題

・「ウォレスの進化論が自分の進化論と同じであることを知りながらそれを無視して自分のものを先に公表するか、自分自身の要約と一緒にウォレスの概要を含めるかという選択」の下線部は、教科書の問1の答えで使われていた文言です。覚えていますか？

(4) 実験結果を説明する記述問題

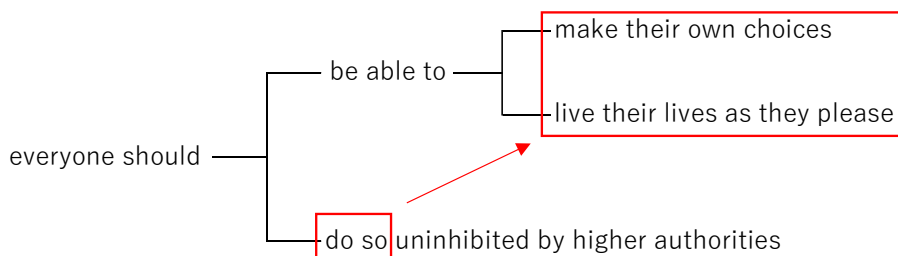
・「自分と金網の向こうにいるもう一方のチンパンジーの両方」というのは、教科書の問2の答えで使われていた文言です。覚えていますか？

8 英文和訳

(1) Such people believe that everyone should be free to make their own choices and live their lives as they please and do so uninhibited by higher authorities.

☆構造を正しく把握してから訳しましょう！（特に and の並列関係）

and do so を無視して、uninhibited by higher authorities を make their own choices や live their lives as they please に修飾させて訳している人が非常にたくさんいて、残念でした。



●受験勉強に関して

①シスタンを見ているだけで英語の受験勉強をしていると思わない！

ある程度長い文章を読みましょう。時には速読を、時には精読を。

②解きっぱなしにしない!

丸つけをし、点数を出すだけで終わらず、解説をしっかりと読みましょう。そして、その解説の内容をしっかりと理解できているか確認するために、ある程度時間が経ったら間違えた問題に再度取り組みましょう。

英語理解 (文科理科共通)

●問題の解説

⑤ 部分英作

(1) (Whatever) (job) you may choose, it is important to (strike) a good balance between

【理系】 work and (leisure) time / 【文系】 (work) and (leisure) (time).

多かった誤答

• Whatever jobs_ ← 1人につき job は1つであることの方がまだ多いので単数形が良い

(2) When I was in my (teens), I lived in an area 【文系】 (where) (there) (was) (almost) (no) public transportation / 【理系】 where there was almost no (public) (transportation), so...

文系に多かった誤答

• where there were almost no ← public transportation は[不加算]。public transportations_と なっていない。

(4) In the Japanese business world, it is (customary) to exchange (business) (cards) with those whom you are meeting for the first time.

多かった悲しい誤答

• customaly ← ly で終わる単語は[副詞]が多い。「～リー」と発音する[形容詞]は ry で終わることがほとんど。

• business のスペル ← 問題の前半に載っているのに! 載ってなくても書けてほしい。

①busy(忙しい)を書く→②y を i に変える→③ness をつける→④完成!

• business card ← 名刺1枚では「交換」できない。cards_と複数形にする必要あり

(5) Parents can (make) their children sit at their desks, but 【文系】 (it) (is) (up) (to) /

【理系】 it is (up) (to) the children (whether) they actually study or not.

多かった悲しい誤答

• It is depend on ← is も depend も動詞である

(6) I am not so good at speaking Japanese, (either). The more I speak, the (more) (depressed) I start to feel.

多かった悲しい誤答

• I am not ..., too. ← 「否定」+「～も」→ either。too は「肯定」の時に使われる。

• the more nervas_ ← -ous が正しい接尾辞

(三好)

7 英作文

- (1)・「話し方」: the way of speaking, ×how to speak～←(これから～する)やり方
- varies a little の“a”抜けや a little の位置がおかしい人が一定数いた。
別解として is a little different でも可。
 - 「性別や年齢に応じて」: according to～の代わりに depending on～でも可。
different につられて different from whether～と書いた人が多かったが、A is different from B: 「A は B とは異なる」なので、注意。
- (2)・ It is important for 人 to～.の構文で書いた人が多数いたが、この構文は基本的に特に強調するわけでもなくたんだんと言う言い方。今回のように「重要なのは・・・」と強調したいならば The important thing is/What is important is が正解。後半(that 以下)の it is we ourselves who(that)～の下線部は、we/us も可としたが、us は厳密には口語表現なので、書き言葉としては避けるべき。
- 「プラスチックごみによって」: with plastic waste の部分、by とした間違いが多かった。また、by throwing away plastic waste と書いた人が一定数いたが、throw away(=discard)は「捨てる」という意図的な行動を指すので、今回は不可。
- (3)・ 自己中心的: self-centered(形)または selfish(形)。
- It is not until ～ that …「～して初めて・・・」の構文、さすがによく理解し、この構文を使って書いていた人が多かったが、時制に注意すること。最後の「コミュニケーションの大切さを知った」の箇所、“I realized how important it was to communicate.”下線部に関して、communication was/communicating was は可としたが、to communicate with other people was は不正解。このような場合、主語が長くなることを避けるため、形式主語(it)を使うのが普通。

共通テストが間近に迫ってきて、皆さんの表情も険しくなっているように感じます。ただ、焦りは禁物。ここからできる共通テストの対策(英語)としては、やはり 80 分通して問題を演習することに尽きると思います。ここで養うべきは、英語力もですが、集中力と持久力です。スポーツと同じで、回数をこなせばこなすほど、この力はつきます。授業で使った演習のテキストも、残りの部分(理系は第 5 回 AB 以降、文系は第 6 回以降)は自宅での練習に使ってください。そして演習の後の見直しも必ずすること！ここからは文章の中で、わからなかった語彙を確実に覚えていくことが肝心です。苦しい時期ですが、「止まない雨はない」。応援しています。

(担当: 曾野)

異文化理解

平均点、最高点、最低点は1学期末とほぼ同じくらいでした。(点数は返却時の授業でお伝えしました。)

発音、アクセント、語彙、文法、会話の問題の合計が45点分(テキストより)、リスニングが10点分(初見で標準のレベル)であるので、これらをきっちり抑えておくだけで半分以上が確保されたわけです。

③の指示された語があまりできていませんでした。3.「consistent の名詞形」は consist (動詞)ではなく、「consistency」です。常に品詞を意識して語彙力アップのために、関連語句は書けるようにしましょう。

④の「ますます多くの～」は「an increasing number of～」ですね。

⑥の1.書き換え問題ですが、It is said that they were popular in the country. = They are said to have been popular in the country.と to 不定詞にしなくてははいけません。しかも時制が違うので完了形にしてください。

また4. はテキストからそのままの This is the point where opinions are divided.が正解で、今回 that は誤答としました。

⑦問3 日本語にする問題は、「have to..., or～」は「...しなければならない、さもなければ～」と「命令文, or」に準じた構文でしたよね。

早くも3学期ということで、残り少ない授業となりました。共通テストまではリスニングを続けていきましょう。それから毎授業で1チャプターずつ進めていきます。十分な解説等の時間はありませんが、これまでやってきた方法で復習に時間を取って理解し、覚えていきましょう。そして志望校合格の栄冠を勝ち取ってください。



冬休み明けの予定

授業の時間割に関しては、教室掲示されている曜日変更のプリントを確認しておくように。

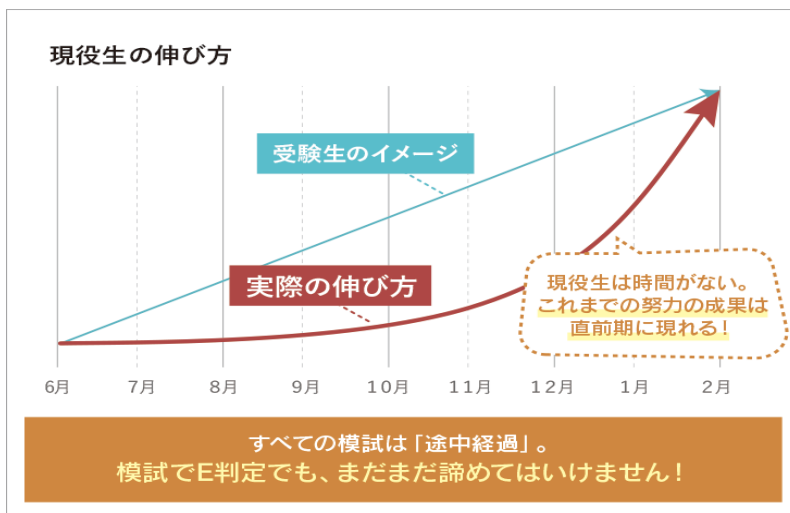
- 1/ 9 (火) 始業式、授業×3
- 12 (金) 授業×3、共通テスト事前指導
- 13 (土) 共通テスト①
- 14 (日) 共通テスト②
- 15 (月) 授業×2、共通テストリサーチ
- 19 (金) 授業×3、共通テストリサーチ結果返却

- 29 (月) 授業×4 (※1～2年は1/27(土)の代休日)
- 31 (水) 授業×3、進路LHR、大掃除

- 2/ 8 (木) 卒業式予行

- 3/ 1 (金) **卒業式**

ちなみに、p. 1 の「学年主任より」で言及されていた「学習曲線」は、以下のようなグラフでした。生徒の皆さん、覚えていましたか？



河合塾 HP より